

新旧対照表

新	旧
構造改革特別区域計画 1～3（略） 4．構造改革特別区域の特性 （１）養父市の特徴 養父市の地勢は兵庫県北部の但馬地域の中央に位置し、県内最高峰の氷ノ山やハチ高原などの山岳高原地帯があり、豊かな自然を有している。交通は京阪神と山陰地方を結ぶ国道９号が東西に、姫路と山陰を結ぶ国道３１２号が南北に通っている。また、平成２４年度には、北近畿豊岡自動車道が<u>市内まで開通し、２箇所のインターチェンジが設置される等</u>、但馬地域の交通の要衝として道路網の整備が進んでいる。 また、スキー場およびハイキングコース等の観光施設が周辺に立地しているなど、豊かな自然を活かした観光産業が盛んな地域である。年間約９２万人の観光客があり、観光が地域の産業をリードしているといえる。 （２）養父市の課題 養父市では少子化が進行し、定住人口は減少傾向が続き、昭和３５年(１９６０年)の国勢調査では４４,８８４人であった人口は、昭和５５年以降緩やかに減少し、<u>令和２年（２０２０年）には２２,１２９人となり、２２,７５５人、５０.７％</u>の減少となっている。特に１４歳以下	構造改革特別区域計画 1～3（略） 4．構造改革特別区域の特性 （１）養父市の特徴 養父市の地勢は兵庫県北部の但馬地域の中央に位置し、県内最高峰の氷ノ山やハチ高原などの山岳高原地帯があり、豊かな自然を有している。交通は京阪神と山陰地方を結ぶ国道９号が東西に、姫路と山陰を結ぶ国道３１２号が南北に通っている。また、平成２４年度には、北近畿豊岡自動車道が<u>市内の２箇所のインターチェンジまで開通される予定である等</u>、但馬地域の交通の要衝として道路網の整備が進んでいる。 また、スキー場およびハイキングコース等の観光施設が周辺に立地しているなど、豊かな自然を活かした観光産業が盛んな地域である。年間約９２万人の観光客があり、観光が地域の産業をリードしているといえる。 （２）養父市の課題 養父市では少子化が進行し、定住人口は減少傾向が続き、昭和３５年(１９６０年)の国勢調査では４４,８８４人であった人口は、昭和５５年以降緩やかに減少し、<u>平成１７年(２００５年)には２８,３０６人となり、１６,５７８人、３６.９％</u>の減少となっている。特に１４歳以下

新旧対照表

の人口は14,680人(昭和35年)から<u>2,447人(令和2年)</u>と減少が著しい。地域コミュニティの中心的役割を担っていた小学校が9校、中学校1校が廃校となるなど、地域コミュニティの希薄化が懸念されている。 また、高齢化についても進行が著しく、65歳以上の人口は3,952人(昭和35年)から8,750人(<u>令和2年</u>)に増加している。このため、福祉サービスの質の確保と高齢者や障害者が利用しやすいサービスの整備が課題となっている。 地域産業の面では年間約92万人の観光客がある観光産業を<u>はじめ</u>とした第3次産業が就業人口の<u>65.1%(令和2年の国勢調査)</u>を占め、次いで製造業・建設業が中心の第2次産業が<u>25.3%</u>となっており、第1次産業では水稲や野菜、花卉を初めとした農業や林業が行われているが、構成比は<u>8.0%</u>となっている。観光産業を<u>はじめ</u>とした第3次産業が地域産業を牽引しているが、農業や林業を<u>はじめ</u>とする第1次産業の縮小が顕著であり、全体としても縮小傾向であることが懸念されている。 (3) 養父市の取り組み このような中、養父市では<u>令和3年度から令和12年度</u>までの計画として、「<u>第3次養父市総合計画</u>」と地方創生を目的として策定された「<u>まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略</u>」を一体化した「<u>養父市まちづくり計画</u>」を策定し、課題の解決に向けて取り組んでいる。養父市まちづくり計画では、2050年の養	の人口は14,680人(昭和35年)から<u>3,843人(平成17年)</u>と減少が著しい。地域コミュニティの中心的役割を担っていた小学校が9校、中学校1校が廃校となるなど、地域コミュニティの希薄化が懸念されている。 また、高齢化についても進行が著しく、65歳以上の人口は3,952人(昭和35年)から8,750人(<u>平成17年</u>)に増加している。このため、福祉サービスの質の確保と高齢者や障害者が利用しやすいサービスの整備が課題となっている。 地域産業の面では年間約92万人の観光客がある観光産業を<u>始め</u>とした第3次産業が就業人口の<u>58.9%(平成17年の国勢調査)</u>を占め、次いで製造業・建設業が中心の第2次産業が<u>31.6%</u>となっており、第1次産業では水稲や野菜、花卉を初めとした農業や林業が行われているが、構成比は<u>9.4%</u>となっている。観光産業を<u>初め</u>とした第3次産業が地域産業を牽引しているが、農業や林業を<u>初め</u>とする第1次産業の縮小が顕著であり、全体としても縮小傾向であることが懸念されている。 (3) 養父市の取り組み このような中、養父市では<u>平成18年度から平成27年度</u>までの計画として、<u>養父市総合計画</u>を策定し、課題の解決に向けて取り組んでいる。養父市総合計画では、まちづくりの基本方向として「<u>安心・活力・快適・生きがい・楽しみ・誇り</u>」・「<u>行政改革の推進</u>」の5つを柱としている。
---	--

父市の姿（まちづくりのコンセプト）を見据え、基本構想として「やぶ 2050～居空間」構想を定めている。また、将来像として「豊かで持続可能なスマートヴィレッジの共創」を掲げるとともに、SDG s を意識した取組や先人から培った挑戦心あふれる取組を実践することを横断的な行動指針とした上で、今後 10 年間の取り組むべき柱として「市民」「地域」「公共」の 3 つを定め、成長させていくこととしている。 第 1 の柱としての「市民」では、様々なつながりのもと、持続可能なスマートヴィレッジの共創に向けて挑戦し、市民一人ひとりが魅力的な“やぶぐらし”の創造に取り組んでいる。 第 2 の柱としての「地域」では、多様な人・コミュニティがパートナーシップのもと様々な活動を展開するとともに、大人も子どもも学びにあふれる環境を創り出すことに取り組んでいる。 第 3 の柱としての「公共」では、地域の発展を支えるため、様々な挑戦を支える基盤整備に取り組むとともに、基本的な生活を新たなステージに導くこととしている。	第 1 の柱としての「安心」では、高齢化社会に対応するため、福祉サービスの質の確保と高齢者や障害者が利用しやすいサービスの整備を推進している。 第 2 の柱としての「活力」では、豊かな自然を活かした観光産業の一層の発展及び縮小傾向にある農業・林業の活性化を図るとともに、人口減少により希薄化しつつある地域コミュニティの再興に取り組んでいる。 第 3 の柱としての「快適」では豊かな自然環境の保全とともに、養父市らしい景観を守りながら、道路網等の生活基盤を整備した快適な生活が送れる環境作りに取り組んでいる。 第 4 の「生きがい・楽しみ・誇り」は少子高齢化の中でも、生きる力を重視した、地域と連携した学校づくり、高齢者が生きがいをもって活躍できるまちづくり等に取り組んでいる。 第 5 の柱としての「行政改革の推進」は合併前に計画された事業・サービスの見直しや集約を行いながら、一層の市政運営の効率化を推進している。
5. 構造改革特別区域計画の意義 本市では様々な方向から課題の解決に取り組み、地域活性化に取り組んできた。特区制度を活用した株式会社による通信制高校についても、養父市まちづくり計画の柱「市民」、「地域」、「公共」に関する取組と合致し、地域活性化のための必要不可欠な要素の	5. 構造改革特別区域計画の意義 このように、本市では様々な方向から課題の解決に取り組み、地域の活性化を図っているが、株式会社による通信制高校を設置する特区計画を申請することにより、従来からの取り組みをより一層推進することができるものとする。特に、今回の特区計画

新旧対照表

一つとなっている。 第1の柱「市民」では、市民一人ひとりにとって心地がよいと感じるまちづくりを通して、多様性と個性あふれる持続可能な空間を創造し、世代を問わず“つながり”のなかで学び合い、自らの選択をもとに自分らしく生活できる暮らしの実現に取り組んでいる。広域通信制の多様なカリキュラムや若い高校生と交流することは、市民に活力を与えてくれるものと期待できる。特に近年増加傾向にある不登校児童生徒にとっては重要なセーフティネットとなっており、本市が目指す「学びがあふれる教育環境」の整備、充実にとっても必要不可欠なものになっている。 第2の柱「地域」では、地方創生の取組の中で受け入れてきた多くの移住者や企業、養父市を支える全ての人々とともに、“つながり”や支え合いを育むインクルーシブで開かれたコミュニティが形成できるように取り組んでいる。開かれたコミュニティをつくることは、広大な市域に人が疎らに住む本市にとって、新たな挑戦を可能にするとともに、まちの持続性を高めることにもつながる。また、人口が減少してもコミュニティの力は薄れることなく、誰もが安全安心に暮らせる豊かな地域社会を実現することができると考える。NPO 支援や地域活動などを通じた市民相互の連携により促進されてきたが、広域通信制高校が加わることで、ボランティア活動や体験学習を通して地域の活性化が図られ更なるコミュニティの広がりをもたらしている。 第3の柱「公共」では、常に発展し続ける養父市を実現するた	は、「安心」、「活力」、「生きがい・楽しみ・誇り」に関する取り組みと合致するものと考える。 「安心」では、本市では少子・高齢化の進展に対し様々な福祉・保育の需要が増えており、老人ホームや障害者（児）施設・保育園等を活用しながら、安心して子育てができ、高齢者や障害者等を地域で支えるまちづくりを推進している。今回、広域通信単位制高等学校が設置する専攻科では、社会人を中心とした高等学校卒業以上の年齢層に対し、福祉・保育・商業・行政等の分野での専門人材育成のためのカリキュラムが用意されており、当該分野において社会に貢献できる人材を輩出することができるとともに、本市を訪れた生徒が福祉施設等で行うボランティア活動を地域のボランティア活動と連携することにより、市民の福祉活動参加を促進するものと期待できる。 「活力」では、本市では豊かな自然を背景に、スキー場やハイキングコース等の施設を中心に観光産業の発展に取り組んでいるが、広域通信単位制高等学校の設置構想では、観光・環境といった分野に特色を持つカリキュラムを編成しており、このことは、本市ならではの地勢や特性を活かしたものであるとともに、観光・環境に関する取り組みについての情報発信拠点としての意味合いも持つものである。 また、養父市では NPO 組織化支援や地域活動などを通じた市民相互の連携による地域コミュニティを促進しようとしている。広域通信単位制高等学校の設置構想では、スクーリング時にボラ
---	---

新旧対照表

めに、行政だけではなく様々な「公共」（主体）が市民や地域の活動をサポートしている。市民が様々な挑戦を行う機運を高め、それを多様な主体によって支え合う仕組みづくりを行うなど、社会全体で力を合わせて必要な環境を整備している。近年、急速に進歩したデジタル技術は、物理的な時間や距離の際（きわ）を無くし、人口減少、高齢化、労働力不足が顕著となっている本市において、持続可能な地域社会の維持・発展に不可欠なものになっている。D X化を最大限に活用して将来の人材を育成している広域通信制高校は、本市において重要な主体として大きな役割を果たしている。	ンティア活動や、農業・林業等の体験学習を進めていくこととしている。さらに、現在廃校となっている旧大谷小学校の活用が図られるとともに、同校の実施するスクーリングでは、全国から若人や社会人が集まることによる人的交流や周辺施設の活性化が期待できる。 「生きがい・楽しみ・誇り」では、本市では地域と連携した学校づくり、高齢者が生きがいをもって活躍できるまちづくりに取り組んでいるが、広域通信単位制高等学校の設置構想では、地域の中・高年齢者が指導者となり、全国のいろいろな地域からやってくる生徒の体験学習を進めることとされており、このことは地域と連携した学校づくりによる中・高齢者を中心とした「生きがい・楽しみ・誇り」を醸成するものと考えている。 今回の構想における教育の特徴としては、生徒の視野を広げるため、地域の農業や林業、また観光・環境、福祉施設など実社会をフィールドとし、実体験を通して授業を行うことがあげられる。この構想の推進にあたっては、地域の農業や林業と充実した連携・協働のもとで行う必要がある。また、観光・環境・福祉の学習においては、より実社会のニーズを反映したものとすることが効果的であると考えられる。このため、実社会との結びつきや関係が強い株式会社による学校設置が適切であると判断した。 この度平成 24 年 4 月 1 日付で、本事業の主体である株式会社ナビの親会社である株式会社ウィザスが株式会社ナビを経営統合（吸収合併）する。株式会社ナビは、これまでも顧客支持獲得及び経営
---	--

新旧対照表

	努力により順調に業績確保をしつつも、学校経営は少子化、競合学校の生徒獲得激化による在籍・業績確保において予断をゆるさない状況であることは変わらない。株式会社立学校においては、学校法人立学校に比して、税制面・私学助成面において差異があり、学校経営の原資は、生徒・保護者の純粋な学費に寄るところとなっており、不断の経営努力なくして業績確保は難しいと考える。 今般の経営統合（合併）の目的において、第一に公器として学校経営の永続性を保つため、高校事業の再編・経営効率化を通じた経営体力の強化による安定的運営の実現。第二に、(株)ウィザスが運営する指導連携校（サポート・予備校）との事業再編も行い、顧客サービス向上の視点で教育サービス（ハード・ソフト面）への投資を図り、更なる指導面・内容の充実を図り、顧客貢献に繋げてゆく。 また、経営統合と同じくして、当該事業の主体の学校名の変更【現「ウィザス ナビ高等学校」から「第一学院高等学校 養父校」へ】も行う。 学校名変更の目的として株式会社ウィザスグループが創業以来掲げる教育理念の“生徒第一”「1/1 の教育」を通じた、コーポレートビジョンである「社会で活躍（貢献）できる人づくり」を更に体現させ、「一人ひとりの生徒の幸福を願い、一人ひとりの生徒を「育む」ことを重視する、“生徒第一”」の想いを顧客に約束する意味合いも込めることで、更なる顧客・社会貢献に繋げてゆく。
--	--

6. 構造改革特別区域計画の目標 本計画は以上の<u>意義を踏まえ、高等学校の通信教育の質の確保・向上を図り、教育を核とした地域活性化が推進され、多くの人々の自己実現と社会参画を促進することにより、以下の市の目標の達成を目指すものである。</u>	<u>く。加えて、株式会社ウィザスが運営する指導連携校（サポート校・予備校）との連携強化も図り、掲げる同じ教育理念「1/1 の教育」のもと、共通の教育像・学校像・生徒像を掲げ、通信制高等学校としての指導と付加価値を与える指導連携校（サポート校）での指導を、それぞれを指導する教職員・カリキュラム等を明確に位置付け、統一ブランド「第一学院」として顧客からも判り易さと安心感を与えてゆく。</u> <u>また、学校名に市の名称を冠することで本事業に関して、養父市及び市民と一体となって進める意味合いも含まれ、養父ブランドの認知効果も期待できる。</u> <u>いずれの本事業計画の変更についても、養父市にとって本事業を継続・発展させる上で重要事項と捉えており、今般の計画変更が更なる顧客・社会貢献へ繋がり、結果として地域活性化にも大きく寄与するものと期待する。</u> 6. 構造改革特別区域計画の目標 本計画は以上の<u>ことを前提に、既に一定の教育経験と生徒確保能力のある学校設置会社による私立高等学校を誘致することにより、教育を核とした地域活性化が推進され、多くの人々の自己実現と社会参画を促進することにより、市の目標の達成を目指すものである。</u>
---	--

新旧対照表

<u>(1) 「市民」がアクティブに自分らしく暮らすまち</u> 市民が生きがいを持って能力や個性を発揮しながら生活できることを目標とする。 <u>最も厚い層を成す中・高齢者にとっては広域通信制高校の体験授業指導に協力できる分野が多く、これらを通じていっそう活力を高められる。</u> <u>(2) 「地域」のつながりを力に、開かれたコミュニティがあるまち</u> 当該高校による地域の様々な施設・団体との交流を推進し、これらを活性化させるとともに連携を密にして強固なつながりを築くことを目標とする。 <u>農林業の体験授業、老人ホーム・保育所等でのボランティア活動等の学校外学習、文化芸術サークルを招いた授業を組み入れた学習カリキュラムを用意する。また、スクーリング、入学式・卒業式等の実施による生徒・保護者の宿泊施設の利用により、周辺施設・店舗の活性化等が期待できる。</u> <u>(3) 様々な「公共」（主体）によって豊かになる地域</u> 文化的、経済的に恩恵を受け地域全体が豊かになることを目標とする。広域通信制高校の授業や生徒の生活支援に関わることで、生きがいや雇用を創出し地域全体の豊かさをもたらすことが期待できる。また、西日本全域からスクーリング等で訪れた若者が、	<u>(1) 「安心」して生活できる環境の創出</u> 福祉・保育・商業・行政等の分野における専門人材を育成するとともに、地域のボランティア活動との連携による市民の福祉活動の啓蒙および参加を促進することを目標とする。そのため、当該高校の専攻科では福祉・保育・商業・行政等の分野での専門人材育成のためのカリキュラムを用意する。 <u>(2) 市民および市の「活力」向上</u> NPOをはじめとした地域コミュニティの活性化を図ること、また、周辺施設・店舗の活性化を目標とする。当該高校では農林業の体験授業・老人ホーム・保育所等でのボランティア活動等を学校外学修として組み入れた学習カリキュラムを用意する。また、スクーリングの年間実施、入学・卒業式等の実施による生徒・保護者の宿泊施設の利用、全国から若人が集まることによる周辺施設・店舗の活性化等が図られる。 <u>(3) 「生きがい・楽しみ・誇り」の醸成</u> 市民の生きがいや生涯学習の機会が創出され、教育と関連することによる、より一層の活力を市民に提供することを目標とする。中・高齢者を中心とした市民にとっては、体験授業指導に協力できる分野が多く、これらを通して、生きがいや、一層の
--	---

<u>本市のよさを知り、スキー等で再度訪れることも期待できる。</u> 7. 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果 (1) 社会的効果 <u>保育の分野</u>における専門人材を育成するとともに、地域のボランティア活動との連携による市民の福祉活動の啓蒙および参加を<u>促進することが期待できる。</u> <u>体験授業・老人ホーム・保育所等</u>でのボランティア活動等の学校外学習を実施することにより、NPOをはじめとした地域コミュニティの活性化、市民および市の「活力」向上が期待できる。 中・高齢者を中心とした市民にとっては、体験授業指導に協力できる分野が多く、協力の場を提供することにより、市民の生きがいや生涯学習の機会が創出され、「生きがい・楽しみ・誇り」の醸成が期待できる。 なお、在籍数、卒業見込み数、ボランティア活動・<u>体験授業等</u>の教育指導者数（延べ人数）は次表のとおり見込んでいる。	<u>活力を市民に提供する。</u> 7. 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果 (1) 社会的効果 <u>福祉・保育・商業・行政等の分野</u>における専門人材を育成するとともに、地域のボランティア活動との連携による市民の福祉活動の啓蒙および参加を<u>促進することにより、「安心」して生活できる環境の創出が期待できる。</u> <u>農林業の体験授業・老人ホーム・保育所等</u>でのボランティア活動等の学校外学修を実施することにより、NPOをはじめとした地域コミュニティの活性化、市民および市の「活力」向上が期待できる。 中・高齢者を中心とした市民にとっては、体験授業指導に協力できる分野が多く、協力の場を提供することにより、市民の生きがいや生涯学習の機会が創出され、「生きがい・楽しみ・誇り」の醸成が期待できる。 なお、在籍数、卒業見込み数、ボランティア活動・<u>農林業体験等</u>の教育指導者数（延べ人数）は次表のとおり見込んでいる。
--	--

新旧対照表

	在籍数 (内、専攻科)	卒業見込み数 (内、専攻科)	ボランティア 活動・ <u>体験授 業</u> 等の教育指 導者 延べ人数 (内、専攻科)		在籍数 (内、専攻科)	卒業見込み数 (内、専攻科)	ボランティア 活動・ <u>農林業 体験</u> 等の教育 指導者 延べ人 数 (内、専攻科)
令和 6 年度 (見込み)	<u>4,282 名</u> (<u>210 名</u>)	<u>1,767 名</u> (<u>100 名</u>)	<u>490 名</u> (<u>5 名</u>)	平成 23 年度 (見込み)	<u>2,300 名</u> (<u>300 名</u>)	<u>700 名</u> (<u>150 名</u>)	<u>500 名</u> (<u>20 名</u>)
令和 7 年度 (見込み)	<u>4,413 名</u> (<u>220 名</u>)	<u>1,775 名</u> (<u>105 名</u>)	<u>500 名</u> (<u>10 名</u>)	平成 24 年度 (見込み)	<u>2,500 名</u> (<u>350 名</u>)	<u>800 名</u> (<u>175 名</u>)	<u>550 名</u> (<u>25 名</u>)
令和 8 年度 (見込み)	<u>4,560 名</u> (<u>230 名</u>)	<u>1,785 名</u> (<u>110 名</u>)	<u>510 名</u> (<u>15 名</u>)	平成 25 年度 (見込み)	<u>2,700 名</u> (<u>400 名</u>)	<u>900 名</u> (<u>200 名</u>)	<u>600 名</u> (<u>30 名</u>)
(2) 経済的効果 スクーリングの年間実施、入学・卒業式等の実施による生徒・保護者の宿泊施設の利用、全国から若人が集まることによる周辺施設・店舗の活性化等により、市民および市の「活力」向上が期待できる。 なお、集中スクーリング参加数、<u>本市への</u>民間需要規模（スクーリングのみ）は次表のとおり見込んでいる。				(2) 経済的効果 スクーリングの年間実施、入学・卒業式等の実施による生徒・保護者の宿泊施設の利用、全国から若人が集まることによる周辺施設・店舗の活性化等により、市民および市の「活力」向上が期待できる。 なお、集中スクーリング参加数、<u>当市へ</u>民間需要規模（スクーリングのみ）は次表のとおり見込んでいる。			

新旧対照表

	集中スクーリング 延べ参加人数 (内、専攻科)	本市へ民間需要規模 (内、専攻科)		集中スクーリ ング参加数 (内、専攻科)	当市へ民間需要規模 (内、専攻科)
<u>令和 6 年度</u> (見込み)	<u>4,240 名</u> (190 名)	<u>98,245 千円</u> (375 千円)	<u>平成 23 年度</u> (見込み)	<u>2,200 名</u> (290 名)	<u>110,000 千円(14,500 千円)</u>
<u>令和 7 年度</u> (見込み)	<u>4,300 名</u> (200 名)	<u>98,245 千円</u> (375 千円)	<u>平成 24 年度</u> (見込み)	<u>2,400 名</u> (340 名)	<u>120,000 千円(17,000 千円)</u>
<u>令和 8 年度</u> (見込み)	<u>4,360 名</u> (210 名)	<u>98,245 千円</u> (375 千円)	<u>平成 25 年度</u> (見込み)	<u>2,600 名</u> (390 名)	<u>130,000 千円(19,500 千円)</u>
また、地元での教員や事務職員の雇用は次表のとおり見込んでいる。			また、地元での教員や事務職員の雇用は次表のとおり見込んでいる。		

新旧対照表

	雇用職員数(内、専攻科)
<u>令和 6 年度</u> （見込み）	<u>13 名</u> （1 名）
<u>令和 7 年度</u> （見込み）	<u>23 名</u> （1 名）
<u>令和 8 年度</u> （見込み）	<u>30 名</u> （1 名）

8. 特定事業の名称

（略）

	雇用職員数(内、専攻科)
<u>平成 23 年度</u> （見込み）	<u>10 名</u> （1 名）
<u>平成 24 年度</u> （見込み）	<u>13 名</u> （1 名）
<u>平成 25 年度</u> （見込み）	<u>15 名</u> （1 名）

8. 特定事業の名称

（略）

9. 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業に関連する事業その他の構造改革特別区域計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

別紙 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業の内容、実施主体及び開始の日並びに特定事業ごとの規制の特例措置の内容

（略）

新旧対照表

教職員配置計画表				教職員配置計画表			
第一学院高等学校 養父校 普通科				第一学院高等学校 養父校 総合学科			
種別	令和 6 年度 (内、非常勤講師)	令和 7 年度 (内、非常勤講師)	令和 8 年度 (内、非常勤講師)	種別	平成 23 年 度	平成 24 年 度	平成 25 年 度
校長	<u>1</u>	<u>1</u>	<u>1</u>	校長	<u>1</u>	<u>1</u>	<u>1</u>
教頭	<u>1</u>	<u>1</u>	<u>1</u>	教頭	<u>1</u>	<u>1</u>	<u>2</u>
国語	<u>3 2 (3)</u>	<u>3 4 (4)</u>	<u>3 4 (4)</u>	国語	<u>8 (7)</u>	<u>8 (7)</u>	<u>9 (7)</u>
地理歴史	<u>3 9 (1)</u>	<u>4 0 (2)</u>	<u>4 0 (2)</u>	地理歴史	<u>10 (8)</u>	<u>10 (8)</u>	<u>11 (8)</u>
公民	<u>3 8 (1)</u>	<u>3 9 (2)</u>	<u>3 9 (2)</u>	公民	<u>4 (3)</u>	<u>5 (3)</u>	<u>6 (3)</u>
数学	<u>1 2 (0)</u>	<u>1 4 (1)</u>	<u>1 6 (2)</u>	数学	<u>4 (2)</u>	<u>5 (2)</u>	<u>6 (2)</u>
理科	<u>1 9 (4)</u>	<u>2 1 (5)</u>	<u>2 2 (6)</u>	理科	<u>4 (1)</u>	<u>5 (1)</u>	<u>6 (1)</u>
保健体育	<u>1 4 (0)</u>	<u>1 6 (1)</u>	<u>1 8 (2)</u>	保健体育	<u>4 (2)</u>	<u>5 (2)</u>	<u>6 (2)</u>
書道	<u>7 (1)</u>	<u>9 (2)</u>	<u>1 0 (2)</u>	書道	<u>1</u>	<u>2 (1)</u>	<u>2 (1)</u>
美術	<u>1 (0)</u>	<u>1 (0)</u>	<u>1 (0)</u>	美術	<u>1</u>	<u>1</u>	<u>2 (1)</u>
家庭	<u>4 (1)</u>	<u>6 (2)</u>	<u>8 (3)</u>	家庭	<u>1 (1)</u>	<u>1 (1)</u>	<u>2 (1)</u>
英語	<u>2 5 (3)</u>	<u>2 7 (4)</u>	<u>2 7 (4)</u>	英語	<u>7 (5)</u>	<u>8 (5)</u>	<u>9 (5)</u>
商業	<u>2 (1)</u>	<u>2 (1)</u>	<u>2 (1)</u>	商業	<u>1</u>	<u>2 (1)</u>	<u>3 (1)</u>
情報	<u>4 (0)</u>	<u>6 (1)</u>	<u>8 (2)</u>	情報	<u>0</u>	<u>1</u>	<u>2 (1)</u>
福祉	<u>1 (0)</u>	<u>1 (0)</u>	<u>1 (0)</u>	福祉	<u>1</u>	<u>2</u>	<u>2 (1)</u>
司書	<u>1 (0)</u>	<u>2 (0)</u>	<u>2 (0)</u>	司書	<u>0</u>	<u>1</u>	<u>1</u>
養護	<u>4</u>	<u>5</u>	<u>5</u>	養護	<u>1</u>	<u>1</u>	<u>2</u>
				事務	<u>8</u>	<u>9</u>	<u>10</u>

新旧対照表

事務	<u>4 7</u>	<u>4 7</u>	<u>4 7</u>	合計	<u>57 (29)</u>	<u>68(31)</u>	<u>82(34)</u>
教務補助員	<u>4 1</u>	<u>4 1</u>	<u>4 1</u>	(注) () 内の数は、非常勤講師の数である。			
合計	<u>2 9 3 (1 5)</u>	<u>3 1 3 (2 5)</u>	<u>3 2 3 (3 0)</u>				

新旧対照表

教職員配置計画表

第一学院高等学校
専攻科

教科	担当科目	令和 6 年度 (内、非常勤 講師)	令和 7 年度 (内、非常勤 講師)	令和 8 年度 (内、非常勤 講師)
保育士専攻	保育原理	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	保育実習 理論 I	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	保育実習 理論 II	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	子どもの 食と栄養	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	子どもの 保健 I	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	子どもの 保健 II	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	保育の心 理学	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	社会福祉	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	児童家庭 福祉	1 (1)	1 (1)	1 (1)

教職員配置計画表

第一学院高等学校
専攻科

教科	担当科目	平成 23 年 度	平成 24 年 度	平成 25 年 度
介護福祉士 課程	福祉	2 (1)	2 (1)	2 (1)
	家庭	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	看護	1 (1)	1 (1)	1 (1)
保育士 課程	家庭	2 (1)	2 (1)	2 (1)
	福祉	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	看護	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	音楽	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	美術	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	国語	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	情報	0	1	2 (1)
行政課程	商業	0	1 (1)	1 (1)
	地歴	0	1 (1)	1 (1)
	公民	0	1 (1)	1 (1)
	国語	0	1 (1)	1 (1)

新旧対照表

	<u>教育原理</u>	<u>1 (1)</u>	<u>1 (1)</u>	<u>1 (1)</u>
	<u>社会的養護</u>	<u>1 (1)</u>	<u>1 (1)</u>	<u>1 (1)</u>
	合計	<u>11 (11)</u>	<u>11 (11)</u>	<u>11 (11)</u>

	<u>数学</u>	<u>0</u>	<u>1 (1)</u>	<u>1 (1)</u>
	<u>理科</u>	<u>0</u>	<u>1 (1)</u>	<u>1 (1)</u>
<u>商業課程</u>	<u>情報</u>	<u>0</u>	<u>1 (1)</u>	<u>1 (1)</u>
	<u>商業</u>	<u>0</u>	<u>1</u>	<u>2 (1)</u>
	<u>公民</u>	<u>0</u>	<u>1 (1)</u>	<u>1 (1)</u>
	<u>英語</u>	<u>0</u>	<u>1 (1)</u>	<u>1 (1)</u>
合計		<u>11 (9)</u>	<u>22 (18)</u>	<u>24 (20)</u>

(注) () 内の数は、非常勤講師の数である。

新旧対照表

別紙 1、2（略） 3．当該規制の特例措置の適用の開始の日 <u>構造改革特別区域計画の変更の認定を受けた日</u> 4．特定事業の内容 （1）事業に関する主体 株式会社ウィザス （2）設置位置／大阪府大阪市中央区備後町3丁目6番2号 KF センタービル（本店所在地） 兵庫県養父市大谷13番地（事業所：学校所在地） （3）設置時期 平成24年4月1日 （4）事業により実現される行為や整備される施設などの詳細	別紙 1、2（略） 3．当該規制の特例措置の適用の開始の日 <u>平成24年4月1日</u> 4．特定事業の内容 （1）事業に関する主体 株式会社ウィザス （2）設置位置／大阪府大阪市中央区備後町3丁目6番2号 KF センタービル（本店所在地） 兵庫県養父市大谷13番地（事業所：学校所在地） （3）設置時期 平成24年4月1日 <u>（事業の主体【学校設置会社】・特例措置の適用 を受けようとする者【学校名】の変更時期）</u> （4）事業により実現される行為や整備される施設などの詳細
--	---

新旧対照表

① <u>広域通信単位制高等学校の開設</u> 旧大谷小学校を高等学校として運用できる教育環境へリニューアルし、教員を採用、生徒募集を行い平成 20 年 4 月に開校した。<u>以来、農林業の体験授業、老人ホーム・保育所等でのボランティア活動等の学校外学習、文化芸術サークルを招いた授業を行うことで、地域住民の生きがいの創造、地域の活性化を推進してきた。養父本校と学習等支援施設間で密接に連携し、業務内容を定め情報を共有しながら生徒の指導に携わっている。</u> <u>平成 20 年 4 月、学校名を「第一学院高等学校養父校」と改めた。</u> ② 教育課程 別紙「第一学院高等学校 養父校 教育課程(普通科:2025 年度)」および専攻科は「第一学院高等学校 養父校 教育課程(専攻科)」の通りとする。 ③ <u>添削指導</u> <u>添削指導については、養父本校において科目ごとに学習指導要領に定められた回数を行う。生徒はタブレット端末を使用して、問題を解答し添削を受ける。生徒の成績やレポートの提出状況は教師のタブレットで常に確認できるようになっており、適切な指導や助言を行うことができる。</u>	① <u>通信単位制高等学校（広域制）の開設</u> 旧大谷小学校を高等学校として運用できる教育環境へリニューアルし、教員を採用、生徒募集を行い平成 20 年 4 月に開校した。 <u>また、今回の事業の主体【学校設置会社】・特例措置の適用を受けようとする者【学校名】の変更については、本事業の適用開始日を以って、関係機関・関係者への周知徹底を図り、並行して新学校名での生徒募集を行う。</u> ② 教育課程 別紙「第一学院高等学校 教育課程(総合学科)」および専攻科は「第一学院高等学校 養父校 教育課程(専攻科)」の通りとする。
---	---

新旧対照表

④ 面接指導等実施施設

集中スクーリング（面接指導）においては、本校舎のみならず、特別区域内にある次の施設を活用し、教育の質の確保に努めるとともに、地域との交流を促進し「地域創生に関わる人材」の創出を目指す。11 月以降に実施する単位認定試験会場として、自然災害等で本校舎に移動することが困難なときのスクーリングの代替施設として活用し、養父校の教員が指導に当たる。

面接指導実施施設名称	所在地	定員	面接指導等の教科・科目
白樺館	兵庫県養父市丹土 896-2	500	国語、地理歴史、公民、数学、保健体育、芸術、外国語、情報、総合的な探究の時間、体験学習、特別活動、単位認定試験
岡口屋	兵庫県養父市大久保 63	120	国語、地理歴史、公民、数学、保健体育、芸術、外国語、情報、総合的な探究の時間、体験学習、特別活動、単位認定試験
翠山荘	兵庫県養父市別宮 290	90	国語、地理歴史、公民、数学、芸術、外国語、情報、総合的な探究の時間、体験学習、特別活動、単位認定試験

※施設追加の理由

開校当初から生徒数が増え続けたことにより、本校だけでは

新旧対照表

適切な時期に面接指導や試験を実施することが難しくなっていた。追加する３つの施設はいずれも教室として使用するに十分な環境が整っており、これらを使用することで余裕を持って適切な時期に面接指導や試験を実施することができる。

⑤ 面接指導

面接指導（スクーリング）は、本校と④に挙げた特区内の３つの施設で実施し、学習等支援施設では行わない。面接指導の内容については、各教科・科目の担当教員が、生徒の興味・関心を考慮しながら、メディア学習の内容と関連付けて工夫した授業を展開する。

⑥ 試験

試験は、本校と④に挙げた特区内の３つの施設で実施し、学習等支援施設では行わない。教師の監督のもと、生徒はタブレット端末で解答する。生徒の解答の正誤や成績は教師のタブレット端末で即座に確認できる。

⑦ 学習等支援施設

学習等支援施設は以下の通りとする。いずれにおいても、面接指導や試験は行わない。定員に合った事務職員と教員を配置し、養父校の指示に沿って生徒の指導に当たる。各エリアごとに本校理事であるエリア長と副エリア長を配置し、定期的に管

新旧対照表

<u>内の学習センターを訪問し指導に当たる。</u>	
----------------------------	--

新旧対照表

<u>学習等支援施設名</u> <u>称</u>	<u>所在地</u>	<u>定員</u>	<u>施設区分</u>	
<u>富山学習センター</u>	<u>富山県富山市新桜町 4 - 2 8 朝日生</u> <u>命富山ビル 5 F</u>	<u>200</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	
<u>金沢学習センター</u>	<u>石川県金沢市堀川新町 2 - 1 井門金</u> <u>沢ビル 2 F</u>	<u>280</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	
<u>豊橋学習センター</u>	<u>愛知県豊橋市駅前大通 3 - 6 0 豊橋</u> <u>イーストビル 5 F</u>	<u>260</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	
<u>名古屋学習センタ</u> <u>ー</u>	<u>愛知県名古屋市東区葵 3 - 1 4 - 1 7</u>	<u>480</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	
<u>四日市学習センタ</u> <u>ー</u>	<u>三重県四日市市鶴の森 1 - 3 - 1 5</u> <u>リックスビル 2 F</u>	<u>260</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	
<u>京都学習センター</u>	<u>京都府京都市下京区烏丸通松原下ル五</u> <u>条烏丸町 4 0 7 - 2</u> <u>烏丸 K T 第 2 ビル 5 F</u>	<u>240</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	
<u>大阪梅田学習セン</u> <u>ター</u>	<u>大阪府大阪市北区万歳町 4 - 1 2 浪</u> <u>速ビル西館 8 F</u>	<u>200</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	
<u>大阪学習センター</u>	<u>大阪府大阪市浪速区元町 2 - 3 - 1 9</u> <u>T C A ビル 6 F</u>	<u>240</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	
<u>神戸学習センター</u>	<u>兵庫県神戸市中央区磯辺通 4 - 1 - 3</u> <u>8</u> <u>ザ・シティ神戸三宮ビル 7 F</u>	<u>320</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	

新旧対照表

<u>奈良学習センター</u>	<u>奈良県奈良市西大寺東町 2-1-3 1</u> <u>サンワ西寺東町ビル 4 F</u>	<u>260</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	
<u>岡山学習センター</u>	<u>岡山県岡山市北区錦町 1-1 岡山駅</u> <u>前ビル 5 F</u>	<u>360</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	
<u>広島学習センター</u>	<u>広島県広島市東区若草町 9-7 三共</u> <u>若草ビル 5 F</u>	<u>280</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	
<u>松山学習センター</u>	<u>愛媛県松山市南堀端町 4-8 HAM</u> <u>ADAビル 1 F</u>	<u>160</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	
<u>小倉学習センター</u>	<u>福岡県北九州市小倉北区浅野 2-1 2</u> <u>- 2 1 SSビル 3 F</u>	<u>200</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	
<u>博多学習センター</u>	<u>福岡県福岡市博多区博多駅前 2-3 -</u> <u>7</u> <u>シティ 2 1 ビル 5 F</u>	<u>320</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	
<u>熊本学習センター</u>	<u>熊本県熊本市中央区花畑町 1 番 5 号</u> <u>尚垂ビル 7 F</u>	<u>160</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	
<u>犬山学習センター</u>	<u>愛知県犬山市犬山富士見町 9-1</u>	<u>80</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	
<u>大阪本町学習センター</u>	<u>大阪府大阪市西区阿波座 1-1 0-2</u> <u>1</u>	<u>160</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	
<u>姫路学習センター</u>	<u>兵庫県姫路市綿町 1 1 9 姫路不動ビ</u> <u>ル 6 F</u>	<u>80</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	
<u>鳥取学習センター</u>	<u>鳥取県鳥取市興南町 9 5-3 寛幸ビ</u> <u>ル 3 F</u>	<u>60</u>	<u>学習等支援</u> <u>施設</u>	

新旧対照表

島根松江学習センター	島根県松江市菅田町 1 8 0 アイウォーク菅田ビル	40	学習等支援施設
宮崎学習センター	宮崎県宮崎市旭 2 - 1 - 2 5 北斗塾第 8 ビル 3 F	40	学習等支援施設
鹿児島学習センター	鹿児島県鹿児島市中央町 4 - 4 2 山下事務器ビル 3 F	80	学習等支援施設
千種学習センター	愛知県名古屋市中区葵 3 - 1 4 - 1 7	160	学習等支援施設
5. 当該規制の特例措置の内容 (1) 養父市に存在する教育上の特別なニーズ 養父市では少子化が進行し、定住人口は減少傾向が続き、特に 14 歳以下の人口の減少が著しく<u>地域コミュニティの中心的役割</u>を担っていた小学校 9 校、中学校 1 校が廃校となるなど、<u>地域コミュニティが希薄化</u>している。 また、高齢化についても進行が著しく、福祉サービスの質の確保と高齢者や障害者が利用しやすいサービスの整備が課題となっている。 さらに、<u>地域産業の面</u>では、観光産業をはじめとした第 3 次産業が地域産業を牽引しているが、農業や林業をはじめとする第 1 次産業の縮小が顕著であり、<u>市全体の産業の縮小が懸念</u>されてい			
5. 当該規制の特例措置の内容 (1) 養父市に存在する教育上の特別なニーズ 養父市では少子化が進行し、定住人口は減少傾向が続き、特に 14 歳以下の人口の減少が<u>著しい</u>。<u>地域コミュニティの中心的役割</u>を担っていた小学校が 9 校、中学校 1 校が廃校となるなど、<u>地域コミュニティの希薄化が懸念</u>されている。 また、高齢化についても進行が著しく、福祉サービスの質の確保と高齢者や障害者が利用しやすいサービスの整備が課題となっている。 地域産業の面では、観光産業を初めとした第 3 次産業が地域産業を牽引しているが、農業や林業を初めとする第 1 次産業の縮小が顕著であり、<u>全体としても縮小傾向であることが懸念</u>されてい			

新旧対照表

る。 <u>このような中、本市では「市民」・「地域」・「公共」を柱として「養父市まちづくり計画」を策定し、豊かで持続可能なスマートヴィレッジの共生の実現に取り組んでいる。人口減少による教育の機会や福祉のサービスの低下、地域産業の衰退等には人的・物的な交流や学習の機会の充実が必要不可欠であるが、本市において広域通信単位制高等学校は地域の様々な面で多大な効果を上げてきた。</u> <u>今回の広域通信単位制高等学校の新たな特区計画の申請は、従来の学校の取り組みをより充実させるとともに、学校と地域がより発展できる契機となるものと期待する。</u> （２）株式会社ウィザスの設置する学校が適切であると認めた理由等 今回の構想における教育の特徴としては、生徒の視野を広げるため、地域の農業や林業、また観光・環境、福祉施設など実社会をフィールドとし、実体験を通して授業を行うことがあげられる。この構想の推進にあたっては、地域の農業や林業と充実した連携・協働のもとで行う必要がある。また、観光・環境・福祉の学習においては、より実社会のニーズを反映したものとすることが効果的であると考えられる。このため、実社会との結びつきや関係が強い株式会社による学校設置が適切であると判断した。また、株	る。 <u>このような状況の中、本市では「安心」・「活力」・「快適」・「生きがい・楽しみ・誇り」・「行政改革の推進」の５つを柱として養父市総合計画を策定し、様々な方向から課題の解決に取り組み、地域の活性化を図っているが、株式会社による通信制高校を設置する特区計画を申請することにより、従来からの取り組みをより一層推進することができるものとする。</u> <u>養父市が取り組まなければならないことは、厳しい社会情勢・財政状況を克服して、明日の活力を創造することにある。厳しい環境のなかにあるからこそ、限られた人的・物的資源を最大限活用して、優先的に進める施策を絞り込むことにより、より高いレベルの市政運営の実現が可能になると考える。</u> （２）株式会社ウィザスの設置する学校が適切であると認めた理由等 今回の構想における教育の特徴としては、生徒の視野を広げるため、地域の農業や林業、また観光・環境、福祉施設など実社会をフィールドとし、実体験を通して授業を行うことがあげられる。この構想の推進にあたっては、地域の農業や林業と充実した連携・協働のもとで行う必要がある。また、観光・環境・福祉の学習においては、より実社会のニーズを反映したものとすることが効果的であると考えられる。このため、実社会との結びつきや関係が強い株式会社による学校設置が適切であると判断した。また、株
--	---

新旧対照表

式会社ウィザスは、多くの教育関連事業の実績を有し、多様な教育を行ってきた経験のある企業であり、本市ならではの特色ある教育を効果的に行うことが期待できる。なお、校地・校舎については、当初より株式会社ナビが設備等についてリニューアルを行い活用している旧大谷小学校を継続して有償貸与する。 ① 一定の条件 資産要件として、校地・校舎については、当初より株式会社ナビが設備等についてリニューアルを行い活用している旧大谷小学校を継続して有償貸与する。 その他に必要な運営財産については、<u>平成 24 年の株式会社ウィザス</u>[資本金 12 億 9,937 万 5 千円]の株式会社ナビの吸収合併による学校設置者の変更により、更なる経営体力強化がなされ<u>学校運営</u>がなされていると判断している。 学校経営を担当する役員陣については、株式会社ウィザスの役員として、経営、企画、教務、管理等の部門において責任ある立場で第一高等学院や第一ゼミナール等の民間教育機関の経営に直接携わってきた<u>実績</u>があり、当該分野における十分な知識と経験があるものと判断できる。 また、第一高等学院や第一ゼミナールの運営にあたっては、不登校・中退を経験した生徒などをさまざまな面からサポートし、その結果、多数の卒業生を輩出している実績があり、社会的信望を持つものと判断する。	式会社ウィザスは、多くの教育関連事業の実績を有し、多様な教育を行ってきた経験のある企業であり、本市ならではの特色ある教育を効果的に行うことが期待できる。なお、校地・校舎については、当初より株式会社ナビが設備等についてリニューアルを行い活用している旧大谷小学校を継続して有償貸与する。 ① 一定の条件 資産要件として、校地・校舎については、当初より株式会社ナビが設備等についてリニューアルを行い活用している旧大谷小学校を継続して有償貸与する。 その他に必要な運営財産については、<u>この度の株式会社ウィザス</u>[資本金 12 億 9,937 万 5 千円]の株式会社ナビの吸収合併による学校設置者の変更により、更なる経営体力強化がなされ<u>学校経営・運営</u>はできるものと判断している。 学校経営を担当する役員陣については、株式会社ウィザスの役員として、経営、企画、教務、管理等の部門において責任ある立場で第一高等学院や第一ゼミナール等の民間教育機関の経営に直接携わって<u>きて</u>実績があり、当該分野における十分な知識と経験があるものと判断できる。 また、第一高等学院や第一ゼミナールの運営にあたっては、不登校・中退を経験した生徒などをさまざまな面からサポートし、その結果、多数の卒業生を輩出している実績があり、社会的信望を持つものと判断する。
---	---

新旧対照表

これらを統括する代表役員は過去 <u>40 年間</u>に亘り、株式会社ウィザスの役員として第一高等学院や第一ゼミナール等の民間教育機関の経営に直接携わるとともに、平成 17 年 4 月に開校した学校設置会社による広域通信単位制高等学校(ウィザス高等学校)の理事長をつとめている実績から、当該分野における十分な知識と経験があるものと判断でき、また社会的信望を有していると認められる。 このほか、<u>広域通信単位制</u>高等学校及びその専攻科における面接指導等については、本計画に記載された区域内において行われることとなっていることから、事業の適切な実施が図られるものと判断できる。 ② 情報公開 当該会社は学校設置会社が備えるべき書類（貸借対照表、損益計算書、営業報告書）、業務状況書類を株式会社ウィザスが設置する学校において、書類作成中の期間を除いて公開する。これらの書類は毎年度末で作成され、6 月 20 日以降は公開が可能となる。 また学校の内部・授業の様子等は学校内掲示板およびホームページ等を活用して本校に関する情報を公開する。 (3) 養父市の責務 ① 地方公共団体による評価	これらを統括する代表役員は過去 <u>27 年間</u>に亘り、株式会社ウィザスの役員として第一高等学院や第一ゼミナール等の民間教育機関の経営に直接携わるとともに、平成 17 年 4 月に開校した学校設置会社による<u>広域制</u>通信単位制高等学校(ウィザス高等学校)の理事長をつとめている実績から、当該分野における十分な知識と経験があるものと判断でき、また社会的信望を有していると認められる。 このほか、<u>通信単位制</u>高等学校及びその専攻科における面接指導等については、本計画に記載された区域内において行われることとなっていることから、事業の適切な実施が図られるものと判断できる。 ② 情報公開 当該会社は学校設置会社が備えるべき書類（貸借対照表、損益計算書、営業報告書）、業務状況書類を株式会社ウィザスが設置する学校において、書類作成中の期間を除いて公開する。これらの書類は毎年度末<u>現在</u>で作成され、6 月 20 日以降は公開が可能となる。 また学校の内部・授業の様子等は学校内掲示板およびホームページ等を活用して本校に関する情報を公開する。 (3) 養父市の責務 ① 地方公共団体による評価
---	--

新旧対照表

養父市は、市独自の私立学校審議会を設立する。<u>委員の教育関係有識者の1人を地元の県立高等学校長とし評価に携わることとする。この審議会においては、年2回の私立学校評価を、書類及び実地で評価することとする。経営並びに教育に対する評価としては関係する機関との連絡を密にし、経営状況・学校設置基準に関する状況・教育活動に関する状況・教職員に関する状況・教科書に関する状況・生徒指導に関する状況等についての書類評価とスクーリング時の生徒指導状況を実地で評価する。なお、内容については、取りまとめたものをホームページに遅延なく掲載し一般に公表するとともに内閣府に報告する。</u> ② セーフティーネット 養父市は事業の円滑かつ確実な実施のため、連携・連絡を密にするとともに、定期的に経営状況の報告を受ける等状況の把握に<u>努める</u>。また、適切な就学ができるよう市の内部にあらかじめ担当者を決め、他の通信単位制高等学校の転入学に関する情報収集・協力要請を行う体制をすみやかに整備する。 また、万一学校経営に著しい支障が生じた場合は、養父市内部に専門の窓口を設け、他校への転入学希望を聴取し、転入学可能に関する情報収集・指導が行えるようにする。 ③ 審議会 養父市では、<u>学校設置会社の設置する通信制教育に関し学識</u>	養父市は、市独自の私立学校審議会を設立する。<u>この審議会においては、年1回以上の私立学校評価を、書類及び実地で評価することとする。経営並びに教育に対する評価としては関係する機関との連絡を密にし、経営状況・学校設置基準に関する状況・教育活動に関する状況・教職員に関する状況・教科書に関する状況・生徒指導に関する状況等についての書類評価とスクーリング時の生徒指導状況を実地で評価する。尚、内容については、取りまとめたものを一般に公表する。</u> ② セーフティーネット 養父市は事業の円滑かつ確実な実施のため、連携・連絡を密にするとともに、定期的に経営状況の報告を受ける等状況の把握に<u>つとめる</u>。また、適切な就学ができるよう市の内部にあらかじめ担当者を決め、他の通信単位制高等学校の転入学に関する情報収集・協力要請を行う体制をすみやかに整備する。 また、万一学校経営に著しい支障を生じた場合は、養父市内部に専門の窓口を設け、他校への転入学希望を聴取し、転入学可能に関する情報収集・指導が行えるようにする。 ③ 審議会 養父市では、<u>市独自の私立学校審議会を設置するが、行政の</u>
--	--

新旧対照表

<u>経験を有する者及び会計に関し学識経験を有する者を含む6名以内の委員で構成した市独自の私立学校審議会を設置する。審議会は年間2回開催し、学校の設立認可および学校評価や学則変更、並びに所轄事務局の指導管理体制について審議する。</u> <u>④ 学校設置事業に対する指導体制</u> <u>所轄庁事務局に県立高等学校管理職経験者を配置し、指導監督に当たらせる。事務局職員で関係機関からの指導内容を共有し、指導管理体制の充実に努める。また、調査点検表やマニュアルを作成し、学校設置事業に対する適正かつ効率的な調査点検を実施する。</u> <u>⑤ 学習等支援施設に対する指導監督体制</u> <u>学習等支援施設については、実施校との連携体制及び教育上、安全上の支障がないかを所在地の府県の設置認可審査基準を参酌して確認するため、定期的に実地点検調査を行う。添削指導、面接指導、単位認定試験が行われていないかを、教職員、生徒へのヒアリングで確認する。</u> <u>(4) 教育環境の改善</u> <u>学校設置会社には、絶えず生徒・保護者のニーズを把握し、社会情勢の変化にも対応しながら教育環境改善に取り組むよう指導</u>	<u>適正性、公正性、専門性を確保するため、その構成は教育関係有識者2名以内、企業経営の知識を有する者2名以内、市議会から1名以内、地域の代表1名以内の計6名以内とする。「特区認定」の後、審議会を開催し、学校の設立認可および年1回以上の私立学校評価や学則変更等について審議する。</u>
--	--

新旧対照表

<u>していく。そのために、アンケート調査、学校評価、学校評議員会の充実を図るよう指導する。</u> <u>養父校においては全ての教科について教員免許を所持する教員がおり、さらに募集し増員に努める。</u>	
---	--

新旧対照表

第一学院高等学校 養父校 教育課程(普通科:2025年度)

普通科各系列の科目一覧

【必修・選択必修科目】※全生徒対象科目					【選択科目】※系列に関係なく履修できる科目				
教科	科目	区分	標準単位	備考	教科	科目	区分	標準単位	対象学年
国語	現代の国語	必修	2		国語	文学国語	選択	4	
	言語文化	必修	2			論理国語	選択	4	
	地理総合	必修	2			読解国語研究Ⅰ	選択	2	学校設定科目
地理歴史	歴史総合	必修	2			読解国語研究Ⅱ	選択	2	学校設定科目
	公民	必修	2			漢字基礎	選択	2	学校設定科目
数学	数学Ⅰ	必修	3		地理歴史	漢字標準	選択	2	学校設定科目
理科	科学と人間生活	選択必修	2	※「科学と人間生活」を含む2科目又は基礎を付した科目を3科目		地理探究	選択	3	
	物理基礎	選択必修	2			日本史探究	選択	3	
	化学基礎	選択必修	2			世界史探究	選択	3	
	生物基礎	選択必修	2			歴史問題研究Ⅰ	選択	2	学校設定科目
	地学基礎	選択必修	2			歴史問題研究Ⅱ	選択	2	学校設定科目
保健体育	保健	必修	2		公民	世界遺産探求	選択	1	
	体育	必修	7			倫理	選択	2	
芸術	書道Ⅰ	選択必修	2	※この中から1科目選択		政治・経済	選択	2	
	美術Ⅰ	選択必修	2			時事研究Ⅰ	選択	1	学校設定科目
外国語	英語コミュニケーションⅠ	必修	3			時事研究Ⅱ	選択	1	学校設定科目
家庭	家庭基礎	必修	2			時事研究Ⅲ	選択	1	学校設定科目
情報	情報Ⅰ	必修	2		数学	数学Ⅱ	選択	4	
総合的な探究の時間	探究1	必修	1			数学Ⅲ	選択	3	
	探究2	必修	1			数学A	選択	2	
	探究3	必修	1			数学B	選択	2	
						数学C	選択	2	
						実践数学Ⅰ	選択	2	学校設定科目
					理科	実践数学Ⅱ	選択	2	学校設定科目
						実践数学Ⅲ	選択	2	学校設定科目
						物理	選択	4	
						化学	選択	4	
						生物	選択	4	
					外国語	英語コミュニケーションⅡ	選択	4	
						英語コミュニケーションⅢ	選択	4	
						論理・表現Ⅰ	選択	2	
						実践英語Ⅰ	選択	2	学校設定科目
						実践英語Ⅱ	選択	2	学校設定科目
					体験学習	実践英語Ⅲ	選択	2	学校設定科目
						体験学習Ⅰ	選択	2	学校設定科目
						体験学習2	選択	2	学校設定科目
						体験学習3	選択	2	学校設定科目
						体験学習4	選択	2	学校設定科目
						体験学習5	選択	2	学校設定科目
						体験学習6	選択	2	学校設定科目

第一学院高等学校 養父校 教育課程(総合学科)

総合学科共通科目一覧					自由選択科目(科目選択制)※全生徒が履修できる科目				
教科	科目	区分	標準単位	備考	教科	科目	区分	標準単位	備考
国語	国語基礎Ⅰ	選択科目	2		国語	国語Ⅰ	選択	4	
	国語基礎Ⅱ	選択科目	2			国語Ⅱ	選択	4	
	世界文Ⅰ	選択科目	2			現代国語Ⅰ	選択	2	学校設定科目
	世界文Ⅱ	選択科目	2			現代国語Ⅱ	選択	2	学校設定科目
	現代文Ⅰ	選択科目	2			現代国語Ⅲ	選択	2	学校設定科目
英語	英文Ⅰ	選択科目	4		英語	英語Ⅰ	選択	4	学校設定科目
	英文Ⅱ	選択科目	2			英語Ⅱ	選択	4	学校設定科目
	英文Ⅲ	選択科目	2			英文Ⅰ	選択	4	学校設定科目
	英文Ⅳ	選択科目	2			英文Ⅱ	選択	4	学校設定科目
	英文Ⅴ	選択科目	2			英語Ⅲ	選択	1	学校設定科目
理科	理科基礎Ⅰ	選択科目	2		理科	物理Ⅰ	選択	2	
	理科基礎Ⅱ	選択科目	2			物理Ⅱ	選択	2	学校設定科目
	物理基礎Ⅰ	選択科目	2			化学Ⅰ	選択	2	学校設定科目
	物理基礎Ⅱ	選択科目	2			化学Ⅱ	選択	2	学校設定科目
	化学基礎Ⅰ	選択科目	2			生物Ⅰ	選択	2	学校設定科目
数学	数学Ⅰ	選択科目	2		数学	数学Ⅰ	選択	4	
	数学Ⅱ	選択科目	2			数学Ⅱ	選択	2	
	数学Ⅲ	選択科目	2			数学Ⅲ	選択	2	
	数学Ⅳ	選択科目	2			数学Ⅳ	選択	2	
	数学Ⅴ	選択科目	2			数学Ⅴ	選択	2	
外国語	英語Ⅰ	選択科目	2		外国語	英語Ⅰ	選択	4	
	英語Ⅱ	選択科目	2			英語Ⅱ	選択	2	
	英語Ⅲ	選択科目	2			英語Ⅲ	選択	2	
	英語Ⅳ	選択科目	2			英語Ⅳ	選択	2	
	英語Ⅴ	選択科目	2			英語Ⅴ	選択	2	
芸術	音楽Ⅰ	選択科目	2		芸術	音楽Ⅰ	選択	2	
	音楽Ⅱ	選択科目	2			音楽Ⅱ	選択	2	
	音楽Ⅲ	選択科目	2			音楽Ⅲ	選択	2	
	音楽Ⅳ	選択科目	2			音楽Ⅳ	選択	2	
	音楽Ⅴ	選択科目	2			音楽Ⅴ	選択	2	
体育	体育Ⅰ	選択科目	2		体育	体育Ⅰ	選択	2	
	体育Ⅱ	選択科目	2			体育Ⅱ	選択	2	
	体育Ⅲ	選択科目	2			体育Ⅲ	選択	2	
	体育Ⅳ	選択科目	2			体育Ⅳ	選択	2	
	体育Ⅴ	選択科目	2			体育Ⅴ	選択	2	
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間Ⅰ	選択科目	1		総合的な探究の時間	総合的な探究の時間Ⅰ	選択	1	
	総合的な探究の時間Ⅱ	選択科目	1			総合的な探究の時間Ⅱ	選択	1	
	総合的な探究の時間Ⅲ	選択科目	1			総合的な探究の時間Ⅲ	選択	1	
	総合的な探究の時間Ⅳ	選択科目	1			総合的な探究の時間Ⅳ	選択	1	
	総合的な探究の時間Ⅴ	選択科目	1			総合的な探究の時間Ⅴ	選択	1	
自由選択科目	自由選択科目Ⅰ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目Ⅰ	選択科目	2	
	自由選択科目Ⅱ	選択科目	2			自由選択科目Ⅱ	選択科目	2	
	自由選択科目Ⅲ	選択科目	2			自由選択科目Ⅲ	選択科目	2	
	自由選択科目Ⅳ	選択科目	2			自由選択科目Ⅳ	選択科目	2	
	自由選択科目Ⅴ	選択科目	2			自由選択科目Ⅴ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目Ⅵ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目Ⅵ	選択科目	2	
	自由選択科目Ⅶ	選択科目	2			自由選択科目Ⅶ	選択科目	2	
	自由選択科目Ⅷ	選択科目	2			自由選択科目Ⅷ	選択科目	2	
	自由選択科目Ⅸ	選択科目	2			自由選択科目Ⅸ	選択科目	2	
	自由選択科目Ⅹ	選択科目	2			自由選択科目Ⅹ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目Ⅺ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目Ⅺ	選択科目	2	
	自由選択科目Ⅻ	選択科目	2			自由選択科目Ⅻ	選択科目	2	
	自由選択科目Ⅼ	選択科目	2			自由選択科目Ⅼ	選択科目	2	
	自由選択科目Ⅽ	選択科目	2			自由選択科目Ⅽ	選択科目	2	
	自由選択科目Ⅾ	選択科目	2			自由選択科目Ⅾ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目Ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目Ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅰ	選択科目	2			自由選択科目ⅰ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅱ	選択科目	2			自由選択科目ⅱ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅲ	選択科目	2			自由選択科目ⅲ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅴ	選択科目	2			自由選択科目ⅴ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅵ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅵ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅶ	選択科目	2			自由選択科目ⅶ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅷ	選択科目	2			自由選択科目ⅷ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅸ	選択科目	2			自由選択科目ⅸ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅹ	選択科目	2			自由選択科目ⅹ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅺ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅺ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅻ	選択科目	2			自由選択科目ⅻ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅼ	選択科目	2			自由選択科目ⅼ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅽ	選択科目	2			自由選択科目ⅽ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅾ	選択科目	2			自由選択科目ⅾ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2		自由選択科目	自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2			自由選択科目ⅿ	選択科目	2	
	自由選択科目ⅿ	選択科目	2</						

新旧対照表

第一学院高等学校 養父校 教育課程(専攻科)

社会福祉コース保育士専攻教育課程表(通信制課程の授業科目及び授業時間数)

科 目	授業形態	単位数	授業時間数		
			面接授業	放送視聴	印刷教材による授業
保育原理		4	4	4	132
保育実習理論		6	5	7	198
子どもの食と栄養		4	4	4	132
子どもの保健		6	5	7	198
保育の心理学		4	4	4	132
社会福祉		4	4	4	132
児童家庭福祉		4	4	4	198
教育原理		2	2	2	66
社会的養護		2	2	2	66
	小計	36	34	38	1,254
	合計				

第一学院高等学校 養父校 教育課程(専攻科)

■社会福祉コース介護福祉士専攻					
科目	授業形態	単位数	授業時間数		
			面接授業	放送視聴	印刷教材による授業
社会福祉基礎	講義	4	4	4	132
人間と社会	講義	4	4	4	132
介護福祉基礎	講義	4	4	4	132
コミュニケーション技術	講義	2	2	2	66
こころとからだの理解	講義	4	4	4	132
生活支援技術	講義	6	5	7	198
介護過程	講義	3	3	3	99
介護総合演習	演習	2	2	2	66
介護実習	実習	3	4		85
	小計	33	32	32	1,075
	合計				

■社会福祉コース保育士専攻					
科目	授業形態	単位数	授業時間数		
			面接授業	放送視聴	印刷教材による授業
保育原理	講義	4	4	4	132
保育実習理論	講義	6	5	7	198
子どもの食と栄養	講義	4	4	4	132
子どもの保健	講義	6	5	7	198
保育の心理学	講義	4	4	4	132
社会福祉	講義	4	4	4	132
児童家庭福祉	講義	4	4	4	198
教育原理	演習	2	2	2	66
社会的養護	実習	2	2	2	66
	小計	36	34	38	1,254
	合計				

新旧対照表

■社会ビジネスコース行政専攻					
科目	授業形態	単位数	授業時間数		
			面接授業	放送視聴	印刷教材による授業
ビジネスITⅠ	講義	4	4	4	132
ビジネスITⅡ	講義	5	4	6	165
ビジネス簿記Ⅰ	講義	5	4	6	165
ビジネス法務	講義	4	4	4	132
行政基礎Ⅰ	講義	5	4	6	165
行政基礎Ⅱ	講義	3	3	3	99
行政基礎Ⅲ	講義	4	4	6	130
行政基礎Ⅳ	講義	6	5	7	198
	小計	36	32	42	1,186
合計					

■社会ビジネスコース商業専攻					
科目	授業形態	単位数	授業時間数		
			面接授業	放送視聴	印刷教材による授業
ビジネスITⅠ	講義	4	4	4	132
ビジネスITⅡ	講義	5	4	6	165
ビジネス簿記Ⅰ	講義	5	4	6	165
ビジネス法務	講義	4	4	4	132
ビジネス簿記Ⅱ	講義	5	4	6	165
ビジネス簿記Ⅲ	講義	4	4	4	132
ビジネスITⅢ	講義	3	3	3	99
ビジネス英語	講義	6	5	7	198
	小計	36	32	40	1,188
合計					